2020年6月20日

福岡県ラグビーフットボール協会

所属チーム　代表者の皆様へ

福岡県ラグビーフットボール協会

理事長　　伊　藤　　節

6月19日付けJRFU通達に関する留意点について

初夏の候、皆さにおかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症につきまして、当協会の「通達」、「FRFU考え方」にご理解をいただき、ご対応いただいておりますことに心より感謝申し上げます。

皆さんのご協力のおかげをもちまして、当協会関係者において感染者が出たとの報告は未だ1件も出ておりません。みなさまのご協力に感謝するばかりであります。

さて、昨日、６月19日付でJRFUより2通の通達「ラグビートレーニング再開のガイドライン第2版」及び「2020夏季の練習および合宿について」が出されました。

当協会では、6月4日に通知いたしました「FRFU ラグビー再開に向けた考え方（以後「FRFU考え方」という。）」によりトレーニング再開のプロトコルをお示し、JRFU通達に従い、トレーニングにおいても「当面の間は、「レベル別活動指針」のレベル 5、コンタクトを伴う、体をぶつけあう接触 プレーは禁止」とさせていただき、試合等については「福岡県の新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、6月中の対外試合、交歓会等は禁止とする。」といたしております。

今回の通達により、コンタクトを伴うトレーニングの再開について「7月1日からレベル 5 の対人コンタクト練習を含めて、段階的に 練習を再開していただくこととします。」との方針が示されましたので、これに従いトレーニング開始をお願いいたします。

なお、「FRFU考え方」でお示ししておりました、「6月中の対外試合、交歓会等は禁止とする。」は6月末までは有効とさせていただきます。

また、トレーニングマッチをはじめ練習試合等については、通達「別添」に記載された、「『活動再開にあたっては、チーム所在地の都道府県、市町村の方針に従うことが大前提であり、再開の判断に 迷われた際は、チームが所在するスポーツ主管課や衛生部局等への相談をお願いします。学校部活動の場合、 学校の方針に従ってください。』とあることから、通達に従ったうえで、双方のチームが保護者等関係者の合意を得た場合に限り、プロトコルを短縮し8月中旬からの合宿等でトレーニングマッチを、チームの責任による判断に委ねることといたします。ただし実施の際は、「スクリーニングの実施」、「周辺環境の整備」を実施されますようにお願いいたします。

それから、7-8月はこれまでもJRFU等から熱中症に対する予防の観点から、基本的に大会の禁止期間であること、スポーツ不活動期間が長かったことにより、熱中症含め、怪我が急に増えることが十分予想されますので、練習・ゲーム時間の短縮や開始時間の変更、短い時間から始めるなど、予防対策に充分配慮されることをお願いいたします。

それと「FRFU考え方」でお願いしておりました、World rugbyの「COVID-19のe-learning」の受講を徹底すること、可能であれば受講証明確認を関係チーム間で行うことでより安全確保に取り組む姿勢が示されることをお願いいたします。

なお、公式戦の開始は7月5日に当協会の理事会を開催し、協議いたします。

その結果は、各カテゴリーの委員長を通じてご連絡させていただきます。

皆様のご協力をお願いいたします。